

警察署千代文書係発給

広報 いまり

発行 昭和57年2月1日 伊万里市役所総務部秘書課 (☎32111 〒848)

№.336



災害のない安全な町は
私たちの願いです。
市民を火災から守る消防
団による堂々のパレード……

(1月17日に行われた消防出初め式より)

'57

2月

〈人口〉 男29,248人 女32,499人 計61,687人 (前月比+26人) 〈世帯〉 16,971世帯 (1月1日現在)

新たな飛躍への始動

久原にセメント2企業の進出決定

現在、県が建設中の山代町伊万里工業団地に隣接の公共埠頭用地に、小野田セメント（株）と新日本製鉄化学工業（株）2社の伊万里セメント・サービス・ステーション進出が本決まりとなり、1月12日市役所で調印式が行われました。

小野田セメント（株）は、資本金202億円、年商2,234億円新日本製鉄化学工業（株）は、資本金70億円、年商2,419億円の業績を持ち、セメントの製造販売を中心とした日本でもトップレベルの企業です。

今回調印された伊万里セメント・サービス・ステーションは

県の公共埠頭用地を借地し、それぞれ3,600㎡の敷地に、入荷設備、出荷設備貯蔵設備が建設される予定です。

セメント・サービス・ステーションは、セメントを製造する目的で建設される

ものではなく、各地のセメント工場で製造された普通セメントや高炉セメントを海上搬入し、いったんサイロに貯蔵して需要のある地域へ供給する流通を目的とした施設です。

伊万里への進出は、佐賀、長崎両県地域の安定供給の確立及び、伊万里湾、西九州北部地域開発やエネルギー関連産業の進

出などに対応して、臨海型企業の誘致を促進するものともなります。

建設着工及び操業開始は、小野田セメント（株）が5月着工、来年1月の操業開始。

新日本製鉄（株）は、1期工事4月着工、12月操業開始。2期工事は昭和59年度に予定しています。

セメントの取扱量は2社とも年間約8万トンを用意しており、雇用人員は、2社で33名の計画です。



▲1月12日市役所で行われた調印式



◀久原の建設予定地図

しいパレードが行われた。二十日には吉善商店の吉原善三氏が工場新築の披露宴をとりやめて百万円の寄付を市に贈呈されたが、いいことは続くもので、その日波多津町板木の出身で大阪で大きな病院を経営しておられる坂本篤郎氏が地元のためにと二百万円を寄贈された。市は目下財政が厳しいのですぐにも役立てたいが、できる限り長くその名を残し、また恩恵にもあづかるよう二つともそれぞれ基金にして、その果実（利子）だけを毎年役立て、行くことにしたいと思う。

さらに同日、同盟の青年部の人達が年末に街頭募金されたものも持参された。そのような善意が重なるということはまさに今年がいいきざしに違いない。

昨年暮れの予算獲得運動で国営総合農地開発事業や浦の崎の護岸施設など新規の大型プロジェクトも認承に成功した。

この期を逃さずさらに努力を重ね、動き始めた企業誘致や地域経済振興事業を実現して、いいきざしの年が事実にいなるようにしなければならぬ。（竹）

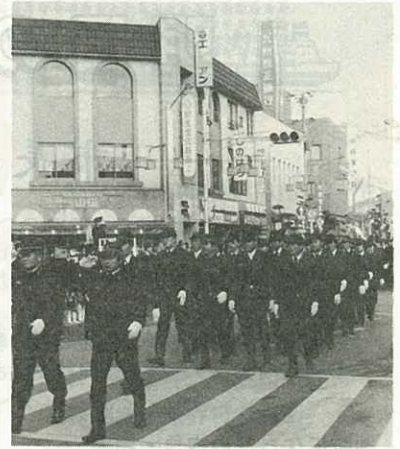
消防出初め式で市中パレード

市民と一体になった防火思想を

伊万里駅通りで1月17日に消防団による市中パレードがありました。これは例年行われる出初め式に加えて、初めての試みで、消防団員967名、消防車両52台が参加して、竹内市長の壇上観閲を受け威風堂々の行進を行いました。沿道には防火ハッピー姿の保育園児や大坪少年防火

クラブも勢ぞろいして、市民に防火思想の徹底を訴えました。

このあと消防本部では、出初め式が開かれ、市長からも交通事故、青少年犯罪、火災のない町づくりを市民と一体となって進めようとの決意がのべられ、富村助役の火の用心三唱で幕をとじました。



▲団員967名堂々の市中行進

婦人防火クラブ相つぎ結成

消防協会からポンプ車3台寄贈

市婦人連絡協議会では、火災のない明るい街づくりをしようと、昭和55年から婦人防火クラブづくりを進めておられますが現在、23クラブ、(支部)1,421

人の結成があり、これは県内の結成数の半数以上を占めています。

婦人防火クラブは、家庭から火災を出さないために、火を使う器具や危険物の取扱い、消火器具の使用方法などのほか、人工呼吸法や応急手当のやり方などを研修されています。

このような実績が認められて、日本消防協会から軽可搬消防ポンプ3台の寄贈がありました。松浦町上分、大川町東田代、波多津町のクラブに配置されました。



▲東田代で行われた入魂式(1/16)

119番が泣いています

119番で火災の問い合わせをすると、その間に災害が起きた時緊急電話が通せず、出動が遅れます。また子供のいたずらが増えて困っています。

◇119番のかけ方

あわてずに落ちついて

①何があったか

「火事です」「救急です」

②どこで

〇〇町〇〇部落〇〇の近くで

③救急のとき…ケガ人、病人の状態を。119番は火災、救急時以外は絶対使わないでください。

今年(壬戌(ミズノエイヌ)の年で、なにかいいさざしのあらわれる年だそう、国際的にも国内的にも社会経済情勢がきびしさをまじえてきている時だけに是非いいさざしが出てきて貰いたいものである。

そういえば今年(例年になくお正月の三日間が連続して晴天で、しかも比較的に温かく、幸先のよい出発ではなかったかと思う。

もっとも温いと商店街の売れ行きにもひびくものがあるが喜んでばかりはいられないが、晴天であればやはり人出は多く、今年(例年)の行事はひと正月にあやかっけて晴天で人出の多い行事でありたいものである。

今年(例年)は消防の意識を高めるため、幼年や少年の消防クラブや婦人防火クラブにも出て貰って、はじめて市中(例年)の行事を実施したが、その日だけは晴天で佐賀県一を誇る団員や積載車のすばら



明日の伊万里を考える

——市長と新成人のつどいより——

15日の成人式を前にした1月12日、市教育委員会の主催で今年成人式を迎える若者の代表41人が参加して市長を囲む新成人のつどいが開かれました。

市役所の会場では、若者たちの夢や希望をまじえ明日の伊万里についてハツラツとした意見が交換されました。

20歳になったの抱負・希望

まず最初に自己紹介をかねて一人ずつ将来への抱負がのべられました。主なものは……

「大人の仲間入りを自覚し、自分の行動に責任を持ちたい」

「いつも笑顔で、他人に愛される人になりたい」

「高校を出て2年目、最近は社会の厳しさをヒシヒシと感じています。(爆笑)社会の荒波に負けない人間になりたい」

「立派な梨づくりの後継者をめざして頑張っています」

「大人の恋をしてみたい?」という発言もありました。

竹内市長

皆さんは自分の名前の由来を知っていますか。名前には両親の願いがこもっています。私たちのふるさと先祖が素晴らしい名前を付けてくれたと感謝しています。交響詩伊万里を作るとき団先生からも伊万里は音感が素晴らしいとほめられました。(中略)

私が新成人に望むことは、個性を持つこと。何でもいから一生涯を通してやることを持つこと。それから自分と郷土と仕事に誇りを持つこと。これをお願いしたいと思います。

司会 それでは伊万里の発展と社会づくりについて自分が市長になったつもりでどんどん意見を出してください。

中山満義さん 大川町川西
卒業のとき、県外からの求人が多かったが、身近に企業を誘致してください。

若者の集まる場所が欲しい。唐津の鏡山や七ヶ釜は暴走族も集まってきました。(爆笑)

岩野正人さん 黒川町長尾
農産物加工をもとに食品工場を誘致しては……。海洋温度差発電の企業化を進めてください。また中国との関係はどうですか。

竹内市長 企業誘致は本日もセメント2社と調印したばかりだが、今後も海洋温度差発電やLPG基地、松浦火力との関係でエネルギー関連産業やIC産業など最先端の企業などの誘致に最大の努力をします。

人の集まる場所は、大川内の

藩窯公園も国の計画にのり、厚生年金休暇センターも出来るので周辺の腰岳開発や川北地区の開発などで進めていくつもりです。中国とは造船研修生の受け入れや友交団の交流など活発にやってきたが、今後は景徳鎮との友交都市を進め、陶磁器の原料でも輸入できれば理想的なんだがね……。

前田夏津子さん 黒川町清水
文化会館の小ホールぐらいの建物が欲しい。昔の青年宿のように制限なしに使える施設が欲しい。今の公民館は10時までしか使えません。それから菜園つきの団地を開発しては……などなど。

このほか大川内町の山本哲也さん、山代の久重路幸男さんなどから伊万里焼の販売のため商社の育成や合板企業の将来についての意見もありました。

竹内市長も若い人たちの率直な意見は大変よい参考になった。明日の伊万里の担い手とし頑張ってくださいと激励がありました。今後もどしどし市政に提言をお願いします。



善意の寄付が相次ぐ

先祖の地にと市へ 200万円プレゼント

大阪府の豊中市で病院を営む坂本篤郎さん（57歳）は、先祖が波多津町板木の出身で1月20日に市庁舎に訪れ、何か役に立ててくださいと200万円を寄付されました。

坂本さんは、約10年がかりで家に伝わる系図や墓石を調べ、先祖が波多津町板木にあった山城、法行城の城主で岸岳城城主波多氏の家老職だったことがわかりました。

伊万里を離れたのは祖父の代ですが、先祖がはっきりした54年12月、法行山に自費で「法行城址顕彰碑」を建て、付近を公園化されました。これを契機に板木地区では、戦後途絶えていた氏神様の先祖祭が復活し春秋に区民総出で行なわれるようになりました。



▲公園化された法行城址と坂本さん

新社屋落成記念に 100万円を贈る

東新町の（株）吉善商店社長吉原善三さん（70歳）は、現在大坪交差点横（旧森永）に新しく社屋を建築移転されましたが、1月22日の新社屋落成を記念し



12月

貿易実績は12億8,916万円で前月比9億349万円の減。

【輸出】 1億7,399万円

【輸入】 11億1,517万円

【船舶の入港】 15隻

（日本船3隻、外国船12隻）

【寄港地上陸許可者数】

329人（フィリピン184人、中国66人、韓国68人、英国8人、ビルマ3人）

市に100万円を寄付されました。

6年前同所に冷凍庫を建設されたときにつづいての寄付です。

これらの寄付を市は何らかの形で残すため、基金運用を検討して、末永く役に立てていく方針です。

特設人権相談

人権・相続・不動産などの問題について人権擁護委員と法務局職員が相談に応じます。

＜伊万里会場＞

▲日時 2月16日

▲場所 市役所市民相談室

▲担当 人権擁護委員

菊池俊夫

＜山代会場＞

▲日時 2月24日

▲場所 山代公民館

▲担当 人権擁護委員

水上房代

暮らしに生かそう・あなたのアイデア

市と消費者グループ協議会では、市民の皆さんと一緒に
・知恵と工夫でくらしを楽しく
・賢い消費でくらしを守る

高齢者居室整備資金 貸付けのお知らせ

65歳以上の高齢者（親族）と同居する方で、高齢者のための専用居室を増改築される場合、次の条件で「高齢者居室整備資金」を貸し付けます。

▲貸付限度額 121万円

▲年 利 3%

▲償 還 10年（1年据置）

※問い合わせ先、市福祉事務所
社会係 ☎☎2111 内線256

をテーマに生活展を開催します。

▲期 日 2月20日～21日

▲時 間 午前10時開催

▲場 所 玉屋5階小ホール

※主な内容は、賢い消費者、くらしのアイデアコーナーなど。ぜひ一度お出かけください。

差押え財産の公売

▲日 時 2月10日午後1時

▲場 所 市役所税務課

▲公売財産 電話加入権 7台

▲公売方法 競争入札

※売却前に滞納税が完納になれば公売は中止します。

詳しくは、市役所税務課管理
収納係へ。☎☎2111 内線233



金子さん



ほほえみ

ケニア 雑感

波多津町畑津 金子正寿さん(27歳)

青年海外協力隊員として昭和55年よりケニアに二年間過ごしました。正直言えば筆を取る気は重いのです。それはケニア人に日本や日本人のことを冷やかに半分で聞かれるのが嫌だったように、ケニアとケニア人のことを冷やかに半分で読まれるのも好まないし、この拙文を読んで「これがケニアか」と決めつけられるのも困ると思ったからです。

一般に日本人のケニア観というのは、野生動物とサバンナの国、そこでは黒い肌の人々が弓と槍を持って牛や動物を追い回しているところでしょう。

現実にはそういう民族は限ら

れており、第一野生動物を勝手に殺せば罰されます。ナイロビではスーツ姿のサラリーマンが普通に見られ、インベーダゲームも有り、余程の田舎でもサンヨーのラジカセがあるので。

しかし私の住んだ町や村は、私の職種(稲作)のせいもあり相当避地でした。

我が村キピニには1日1本のバスがあり、雨期には3ヶ月位ストップしたりしました。人々はノンビリと村にくる車を待つか、25km離れた隣町まで歩いて行きバスに乗っていた。

カウ村は雨期には半年以上車



▲ウエストケニアでのおおらかな脱穀風景

が入れず、オジ村へはカヌーで3時間かかった。

まだ人間に支配されていない自然の中で、人と自然は共存しているのです。ここでは成せば成るといふ自力本願は通用せず、全ては神の思召しと他力本願的な考えになります。イスラム教は彼らにとって飾りではなく生活の智慧なのです。彼らと生活しているうちにモスレム(回教徒)にならなくてもいいな、と思ったりしました。

肌の色というものは気にならないものだが、最も基本的に日常生活、習慣といったところからくるカルチャー(文化)の違いを感じました。

所詮同じ人間だという気持ちはあってもこのカルチャーの違いをよく認識しておかないと、とんでもない感情のすれ違いを引き起こしかねないという実感は今も私のアフリカ体験として残っています。

えびすまつり



▲伊万里神社の大黒・恵比須様

1月20日は廿日えびす。伊万里神社では商店街の店主が一同に集まり、商売繁盛を祈願してえびす祭がありました。宴席では昔は必ず歌われて明治のころからとだえていた「算盤口説」が幸善町の富田いとさんの聞き伝えで復活し、全員で唱和され、今年1年の商工業の繁栄を願いました。



ひろば

No.4

心に太陽を くちびるにほほえみを

この頁は市民の皆さんが作るページです。
皆さんのご意見や作品をおまちしています。

秘書課 広報係◎2111 内線408まで

いまり歴史散歩 その2

大昔の伊万里

市郷土研究会 山口房一

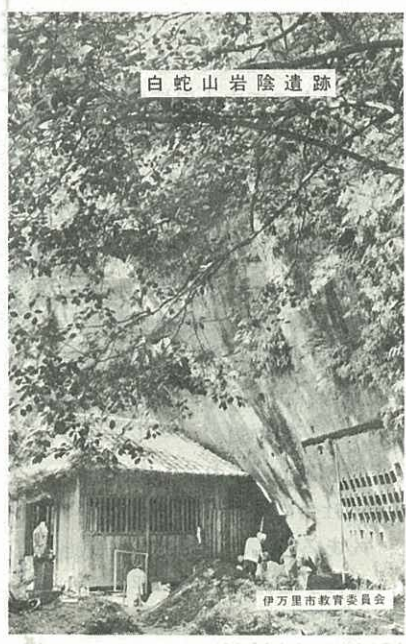
私たちの郷土伊万里地方には、いつごろから人間が住んでいたのでしょうか。今まで、はっきりしませんでした。終戦後、考古学(遺跡や遺物によって過去の文化を研究する学問)の研究が進むにつれ、郷土のあちこちから掘り出される遺物によって、だんだんとわかってきました。

初めて本格的調査がされたのは、昭和36年、明治大学考古学研究室が中心となって行った二里町川東の平沢良と鈴桶遺跡で発掘調査の結果、出土したナイフ型石器・刃器・剥片(黒曜石をはいかけた)・石核(石礫をつくる時、まわりをはいたくさんな黒曜石の破片などから、旧石器時代(先縄文時代ともいう。今から約1万年前より以前)の石器工場であることが明らかにされました。

石器はいうまでもなく腰岳産の黒曜石(当地方では、カラス)、こんな工場跡らしいのが、腰岳の西側をはじめ市内各地に何か所もあります。西北九州でいちばんよい腰岳産の黒曜石は、当地方はもちろん遠く山口県や南朝鮮まで分布し、大昔の交易や文化の広がりがうかがわれます。

昭和46・7年、佐賀県立博物館が行った東山代町脇野白蛇山岩陰遺跡の学術調査では、4m掘り下げた11~13層から、旧石器時代の細石器が出土し、その上の各層から縄文時代(約1万年前から紀元前2・3世紀ごろまで)の特色ある文様の土器や石器が年代順に出土しました。これによって、この遺跡は1万数千年前から7・8千年の長い間の住居

発掘作業中の白蛇山岩陰遺跡
標高約100mの山中、南東向き
の洞穴で、建物や岩穴は、中世の宝積寺奥の院の遺跡です。



白蛇山岩陰遺跡

伊万里市教育委員会

今日は ほほえみさん



二里町八谷搦
安野智子さん

(S33年生)

市農協本所の金融窓口に通じる看板娘です。一見近代的なお嬢さんですが、日舞の藤間流の名取りだそうです。

趣味は映画観賞、最近ではレイダースを見たとか……。

(モットー)

何でも一所懸命に、思いやりを大切に。……ほほえみのたえない活発なお嬢さんでした。

跡であることがわかりました。
このほかにも、立花町元水源
地付近、木須町中尾山、大坪小
学校西側高地、波多津町木場前
山・開田・井野尾、南波多町水
留、松浦町瓶山・上原と西谷と
の間、二里町笹尾、東山代町滝
川内菖蒲谷・辻の堂・上白幡な
ど各地から旧石器時代の遺物が出
土していますので、1万年前には
ほとんどの市域内に人が住んで
いたようです。49年、山代町久
原城山田代池遺跡から発見の
ナイフ型石器から推定すると、
もっと早く、2万年以前から
住んでいたものもいたと考えら
れます。



ありがとう あなたの善意

心あたたまる町の話

～その37～

剣道で伸びる 強い子正しい子

牧島小の子供たちを指導する川崎巡査

地域の子供たちに剣道を教えたり、一人暮らしの老人の相談相手になって、地区民からたいへん喜ばれ、感謝されているお巡りさんがおられます。

この方は、瀬戸町の警察官駐在所に勤務している川崎達成さん(32歳)です。川崎さんは、牧島小学校剣道スポーツ少年団が55年6月に発足した当初から現在の伊万里錬成館(館長、犬塚邦康)になるまで、ずっと子供たちの指導に当たり、剣道6段の腕前で現役時代は、国体や全日本選手権の常連で、佐賀の川崎とおそれられていました。

現在、練習は牧島小体育館が改築中のため伊万里警察の道場で行われていますが、礼に始

り、礼に終るといわれる剣道で、子供たちもすっかり礼儀正しくなったと、父兄にたいへん喜ばれています。道場は真剣な子供たちの熱気であふれていました。



▲子供たちの指導にも熱が入る川崎さん



あの人この人

No.8

坪内安衛さん(55歳) 大川町東田代

八幡岳に近い東田代にお住まいの坪内さんは、立川炭坑や閉山後は大牟田の三池炭坑に停年まで勤められ、その間、労働争議の調定や組合長にもなり文字どおり炭坑の盛衰と共に歩いてこられました。この頃から石炭資料を集められ、県下でも個人でこれ程の資料を持っている人はいません。もともと収

集が好きで始められたものですが、この実績により現在は九大の学外研究員でもあります。

「かつて中小炭坑の経営者や炭坑で働いた人たちの苦労は、歴史の片隅に忘れ去られようとしている。この意味で石炭の資料収集は私のライフ・ワークです。」と語る坪内さん。4.5年前から石炭舟の船員の話を書くために四国へ取材の旅を続けておられます。またNHKテレビでも石炭の道(コールロード)として放映されました。

「社会に書き残すことがたくさんあるけん、まだ遺言は書きません」と語る言葉に坪内さんの情熱が感じられました。



▲貴重な石炭資料を前にした坪内さん

晴れの成人式



●「あら先生お久しぶり。やあ、君ももう成人か」



▲成人式に784人の若人が集う(1/15)

今年成人式を迎えたのは男383人、女401人で会場では、はなやかな雰囲気の中に交響詩いまりや新成人の歌の合唱もありました。



▲もうすぐ卒業、農林高校の離山式(2/24)

農林高校林業科の生徒38人が腰岳の演習林で、記念植樹とジングスカン鍋のサヨナラパーティーを開きました。

いま伊万里で

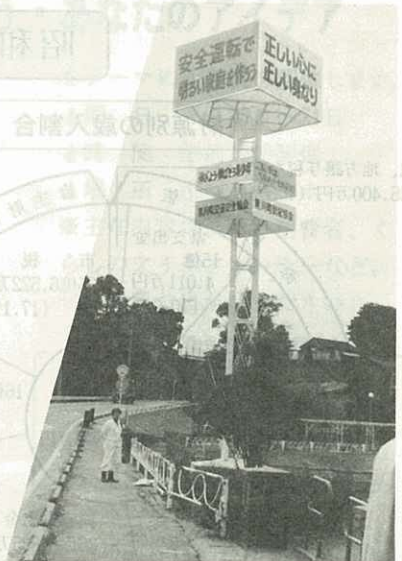


▲伊万里・有田焼の新作展示会(1/7~8)

伊万里・有田焼の窯元が今年の新作を一堂に集め市農協会館で展示会を開きました。



▲中島杯ロードレース大会(2/15)
この大会も今回で17回目遠く広島の走ろう会からの参加もあり五百人の選手が健脚を競いました。



▲黒川町に交通安全広告塔

国道204号線黒川公民館前に同町の松本泰夫さんから高さ12mもある立派な広告塔が贈られました。

市の台所

昭和56年度 上半期の収支状況

＝歳 出＝

執行率 52%

昭和56年度上半期（4月～9月）の予算現額は、一般会計149億6,572万円、特別会計29億4,619万円です。55年度の同期に比べると、一般会計で23億6,180万円増額、特別会計では1億4,119万円の増額となっています。

9月末までに執行した予算のあらましは、次のとおりです。

予算現額 149億6,572万円を性質別にみると、扶助費、人件費などの消費的経費が71億3,925万円で構成比47.7%、建設事業などに使う投資的経費64億2,818万円が43.0%、起債元利償還金など、その他の経費は13億9,829万円が9.3%となっています。

昭和56年度上半期（4月～9月）までの予算執行状況は、総額78億2,412万円です。予算額に対し52%、このうち支出済額は54億4,216万円が36.4%にあたります。

一般会計

＝歳 入＝

収納率 35.5%

予算現額 149億6,572万円のうち、市税などの自主財源は41億9,606万円、地方交付税や国および県支出金などの

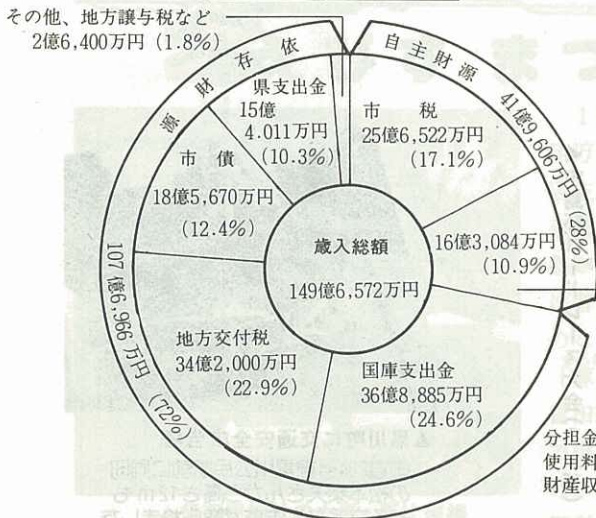
依存財源が107億6,966万円を72%を占めています。これは、いかに国や県の資金などに依存した財政運営かが云えます。

昭和56年度上半期（4月～9月）の収入済額は53億1,235万円です。予算額に対し35.5%が収納されています。

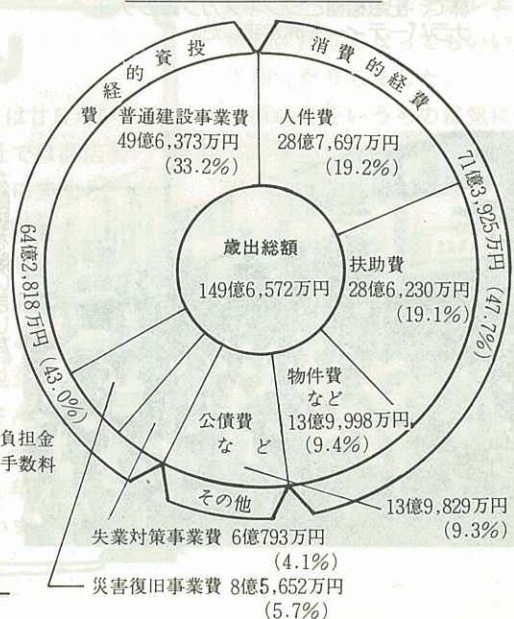
その主なものは、地方交付税22億8,824万円、国庫支出金12億6,988万円、市税10億5,937万円などです。

昭和56年度一般会計予算

財源別の歳入割合



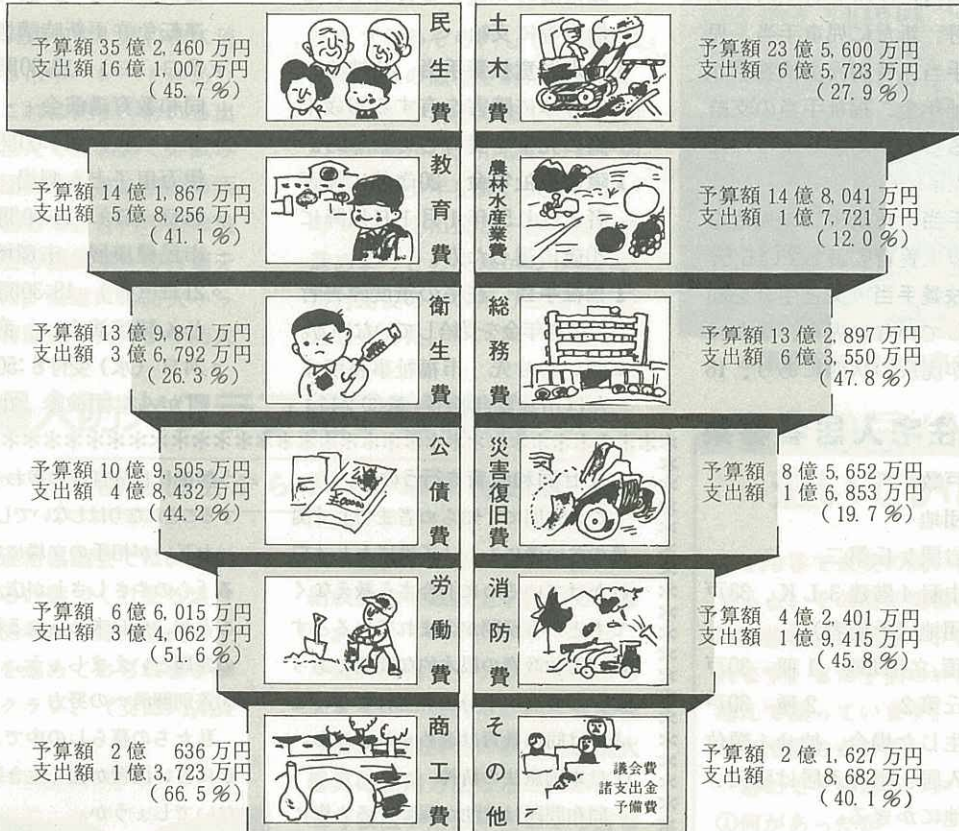
性質別の歳出割合



一般会計予算の使いみち

()の%は支出率

昭和56年9月30日現在



予算総額 149億 6,572万円 支出済額 54億 4,216万円

特別会計

予算執行状況 昭和56年9月30日現在 (単位 万円)

区 分	歳 入			歳 出		
	予算現額	収入済額	収納率%	予算現額	支出済額	支出率%
簡易水道	10,361	4,924	47.5	10,361	4,219	40.7
国民健康保険	265,103	117,334	44.3	265,103	90,345	34.1
と畜場	1,006	76	7.6	1,006	798	79.3
同和地区住宅 改修資金貸付	422	65	15.4	422	337	79.8
立花台地 開発事業	15,383	5,340	34.7	15,383	1,668	10.8
休日急患 医療センター	694	217	31.3	694	212	30.5
伊万里市営 駐車場	1,650	1,081	65.5	1,650	1,076	65.2
合 計	294,619	129,037	43.8	294,619	98,655	33.5

市有財産



土 地
750万6,767
平方メートル



建 物
17万2,409
平方メートル



基 金
6億1,083万円



有価証券
6,008万円



重要備品
(車両・物品など)394台(個)

外国人の方も児童手当など受けられます。

2月の市民会館行事予定

日本国内に住所を有する外国人の方も、新たに児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当、障害福祉年金、福祉手当の支給を受けることができるようになりました。

- ▲ **児童手当** 18歳未満の児童を3人以上養育監護している方。
- ▲ **児童扶養手当** 父と生計を同じくしていない児童、または父親が廃疾の状態にあり、18

歳未満の児童を養育している母親等に支給。

- ▲ **特別児童扶養手当** 精神または身体に障害を有する20歳未満の児童を養育している方。
 - ▲ **障害福祉年金** 20歳前に障害者となり57年1月1日以降に20歳に達した方。
 - ▲ **福祉手当** 在宅の重度障害者で障害年金を受給していない方。
- ※問い合わせ先 市福祉事務所または市民課年金係 ☎③ 2111

- 毎週金曜日 9:30・12:30受付 運転免許更新時講習会
- 7日(日) 13:30開演 同和教育講演会
- 9日(火) 14:00開演 伊万里子ども劇場
- 14日(日) 13:00開演 市民健康展 市環境衛生課
- 21日(日) 13:30開演 じん肺講演会 商工会議所
- 24日(水) 受付8:50~9:30 胃がん集団検診 市民ロビー

営営住宅入居者募集

▲ 募集戸数

○ 新設団地

脇田町岩栗ヶ丘第二

2種、中耐4階建3LK、38戸

○ 既設団地(予備者)

脇田、木須、立花団地 1種 30戸

岩栗ヶ丘第2 2種 30戸

空家が生じた場合、抽せん順位により入居、単身入居は脇田、木須団地にかぎる。

▲ 申込受付期間

57年2月15日~2月26日

▲ 申し込み、問い合わせ先

伊万里土木事務所管理課建築係

電話 ③-4151

ソフトチームの登録

市ソフトボール協会は、協会主催の大会に参加されるチームの登録を次のとおり受付ます。

▲ 申込期限 2月25日

▲ 登録用紙 各公民館に準備

▲ 登録料 6,000円(年間)チーム登録時に事務局へ納入

登録されるチームは協会事務局(伊万里市松島町、古賀常六 ☎③ 2393)へお申し込みください。

なぜ同和教育を行うのか。

この質問に「知らぬ者まで」「関係のない者にも」「子供にも」「忘れかけているのに」今さら教えなくてもという疑問が含まれているとすれば同和教育の根本的な問題であって、この点が十分理解されてないことには同和教育は進められません。

①日本国憲法の精神

同和問題は憲法が保障する人権にかかわる問題であり、同和教育は人

う態度は自分自身の幸わせをも否定することになりはしないでしょうか。

お互いが相手の立場になって考える「心のやさしさ」が広がっていくことが、今日求められる社会づくりの課題といえましょう。

③差別解消への努力

私たちの暮らしの中で、心のどこかに古い因習が強く生き残ってはいませんか。

男性が女性を、健常者が障害者を

同和教育シリーズNo.20

同和教育巡回講座から

権尊重の教育です。日本国憲法が保障する「基本的人権の尊重」は人間らしく幸せに生きたいというすべての人の願いを守り、これを実践していくのが同和教育です。

②みんなの課題として

同和問題は人間の自由と平等に関する「基本的人権の尊重」という憲法の大黒柱に「差別」という白蟻が巣くっているようなもので、これを放置することはできません。

「同和問題は私に関係ない」とい

無視したり、また被差別部落出身者だからと差別することは誤った社会意識の結果として厳に戒めなければなりません。

特に部落差別の問題はこれまでの永い間のいわれなき「つくられた差別」であることの学習を通して正しく理解し、一人ひとりが「心の変革」にせまる努力によって、より明るい民主的な社会の実現をめざさなければなりません。

(社会教育課)

所得税・贈与税の申告と納税は

3月15日まで

昭和56年分の贈与税の申告と納税は2月1日から、所得税の確定申告と納税は2月16日から、それぞれ受付が始まります。

この申告と納税の期限は、どちらも3月15日までとなっていますが、期限間近になりますと税務署の窓口が大変混雑します。

申告は、できるだけ早く済ませましょう。
詳しいことは税務署へ（☎③-3147）

同和教育推進大会のお知らせ

とき：2月7日（日）午後13：30

ところ：市民会館ホール

演題「部落問題の今日的課題」

主催：市教育委員会・市同和教育推進委員会

ご存じですか正しい電話の使い方



電々公社では、無料で電話教室を開いています。ご都合の良い日を選び電報電話局自動運用課（☎③4251）に連絡ください。

次のかたからご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。
社会福祉事業費へ
◆香典返しを寄付

- 松尾光男（亡父正己 瀬戸町本瀬戸）
- 久保宣照（亡母江頭ワサ 山代町川南）
- 藤秀一郎（亡長男猛志 大坪町六仙寺）
- 福井シヅノ（亡夫孝 松島町下松島）
- 山口秋義（亡長男正廣 松浦町藤川内）
- 黒木淳吉（亡母マサ 船屋町）
- 関本トラ代（亡夫治 新天町）
- 松尾金之助（亡母キヲ 二里町川東）
- 松川勇喜（亡父勇一 里町川東）
- 川原正之（亡父竹次 山代町福川内）
- 山口勝弘（亡母ヨシ 東山代町脇野）
- 野中 林（亡母力子 大川町駒鳴）
- 河野傳吉（亡妹サカエ 立花町西円）
- 芝 恭秀（亡父虎男 脇田町）
- 原 実（亡母キヲ 大川内町吉田）
- 清水 孝（亡母サキ 新天町）
- 村山松治（亡妻テル 山代町久原二区）

ありがとう



ごさいますた

- 浦川義信（亡母ジツ 東山代町長浜）
- 松尾ミドリ（亡夫鉄雄 木須町木須西）
- 中島光晴（亡母クオ 本町一丁目）
- 山下権九郎（亡母フチ 山代町久原一区）
- 武重 功（亡父清次郎 脇田町平山）
- 古賀勝利（亡父政次 山代町城）
- 林 源盛（亡母イワ 山代町楠久津）
- 市川美智子（亡夫光雄 大川内町大川内山）
- 米岡里江（亡母ヨシ 立花台三丁目）
- 松尾惣一（亡父弥惣次 立花町富士町）
- 福田 勇（亡父與四郎 立花町西円）
- 福田 栄（亡母ツキエ 二里町川東）
- 轟木義光（亡妻キヌエ 東山代町里）
- 藤松文夫（亡母ソノ 大川町立川）
- 樋口昭雄（亡妻キエ子 立花台一丁目）
- 梶山政枝（亡父一男 朝日町）
- 中島辰憲（亡父慶市 大坪町上古賀）
- 多久島英明（亡母チエ 東山代町長浜）
- 山口英樹（亡母ウサ子 立花台三丁目）
- 小嶋重吉（亡義母キク 黒川町浦分）
- ◆篤志寄付
 - 池田豊（二里町作井手 見舞返し）
 - 三万円 吉田定兵衛ウメ（波多津町辻）
 - 三万円 松尾勝馬（黒川町福田 交通遺児）
 - 二万円 江頭フミ（大坪町下古賀 寝たきり老人の方々へ）
 - 一万円 瀬戸真（大川内町大川内山 亡姉フチ殿の香典返しを障害者へ）
 - 五千元 川久保純子（東山代小学校、国際障害者記念事業費）
 - 二万三千三百円 西肥バス青年婦人部代表
 - 緒方一友（二里町八谷橋）
 - 一万円 牧野敏明（東京都）
- 一万五千円 嶋田春水社中池坊春華会
- 三万四千五百円 伊万里地区同盟青年婦人協議会（街頭募金を交通遺児激励金へ）
- 一万円 前田節治（立花台三丁目、県社会福祉大会受賞記念として）
- ◆教育振興奨励基金
 - ◆香典返しを寄付
 - 岡部茂夫（亡母三枝松イマ 大宰府町通吉）
 - 田中ハル子（亡夫道次 東山代町里）
 - 賀 滝野小学校へ）
 - 福田嘉太（亡父吉人 山代町久原滝野小へ）
 - 井手政喜（亡長女喜美代 南波多町谷口波多川小学校へ）
 - 田中四十二（亡母アイ 南波多町重橋波多川小学校へ）
 - ◆体育振興奨励基金へ
 - ◆篤志寄付
 - 一万円 中島絃一（新天町）
 - ◆明るいまちづくり推進資金へ
 - 〔二里公民館〕
 - 田中義隆（亡母ハマ 立花町渚）
 - 高木正春（亡父徳七 二里町吉野）
 - 立川正志（亡父栄吉 二里町金武）
 - 〔南波多公民館〕
 - 田中四十二（亡母アイ 南波多町重橋）
 - 小松いつみ（亡夫寿一 南波多町井手野）
 - 〔波多津公民館〕
 - 市丸トシヲ（亡夫國四郎 波多津町筒井）
 - 〔黒川公民館〕
 - 佐々木弘（亡妻ヒサオ 黒川町塩屋）
 - ◆篤志寄付
 - 交通安全広告塔 松本泰夫（黒川町浦方）
 - 〔牧島公民館建設資金〕
 - 松尾ミドリ（亡夫鉄雄 木須町木須西）
 - ◆市立図書館へ図書寄贈
 - 川原義幸（滝川内）・田中熊夫（木須西）
 - 小柳生子（松島町）・山口正次（祇園町）
 - 山口遣之助（楠久津）・福田幸吉（川東）
 - 竹内津子（松島町、図書券一万円）
 - 梶山孝志（二里町八谷橋）

こどものページ

めで見る大昔の伊万里

今、歴史民俗資料館では、大昔の伊万里展が開かれています。私たちの古里は大昔いったいどんなところだったのでしょうか。またどんな暮らしをしていたのでしょうか。展示されている資料を見ながら大昔の伊万里をさぐってみましょう。

<大昔の生きもの>

昨年(しんねん)の12月に日本の探険隊が南アフリカの近海でシーラカンスを捕えて話題になりました。

シーラカンスは4億年前の生きた化石といわれる魚ですね。

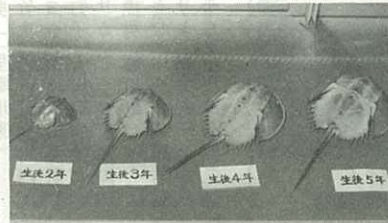
伊万里にも生きた化石がいます。それは古生代(こせいだい)(約4億年前)の三葉虫(さんようちゅう)によく似ているカプトガニです。波の静かな伊万里湾の干潟(ひがた)はカプトガニの生息(せいじく)にぴったりなのでしょうね。

ほかにも3,000万年前の鳥の骨の化石が、波多津や大川から発見され、ペンギンによく似た新種の鳥骨として国際的に有名になりました。

<地形とすまい>



▲大昔のくらしの想像図も展示されています。

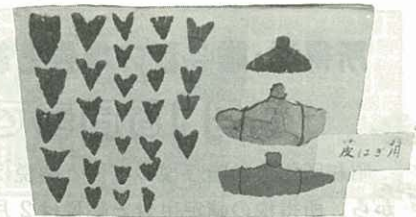


▲カプトガニの成長を現わす標本

大昔の伊万里は、海がもっと陸地へ入りこんでいて海拔5～10mの所は海の中でした。伊万里の町はもちろん、長浜ダムや黒川中学校、腰岳(こしやま)のふもとまで海で、今でも立花町に渚(なぎさ)という地名が残っています。

伊万里に人が住みついたのは2万年ぐらい前ですが、この頃はどんな暮らしだったのでしょうか。

貝や魚、木の実をとったりけものを捕えて生活していたようです。住まいは、ほら穴や岩かげの雨をしのげる場所から堅穴式(かたあなしき)住居へと進み、水のある南向きの山すそか海岸近く(かいがんちかく)の台地に住んでいました。

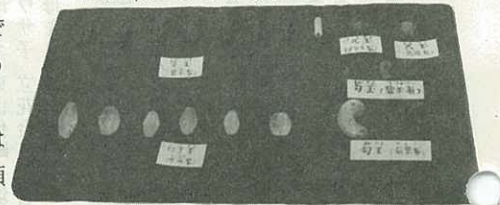


▲黒曜石(くわいせき)の矢じり(やじり)やほうちょう(ほうちよう) <道具(たぐい)と暮らし> (木須町(きすのまち))

古代人の生活に欠かせない道具には、腰岳産(こしやま)の黒曜石(くわいせき) (鳥枕(とりまくら)が使われ、二里町(ふたりに)では石器工場(せきぎこうじょう)も見つかっています。

矢じりや石おのを見たことがありますか。昔は学校やテストがないからいいなあと思いませんか。

縄文時代(じょうもん) (約1万年前～紀元前300年)はお米(こめ)がなかったの(えもの)で、獲物(とらえもの)が取れない時は、腹(はら)をすかせる毎日(まいにち)もあつたんだよ。つい最近(さいきん)、唐津(たか)の菜畑(さいはたけ)遺跡(いせき)から炭化(たんか)した米(こめ)がみつかりましたね。これが日本で最初に作られたお米(こめ)だそうです。



むくろじ ▲空路寺古墳(6C、二里)の副葬品(ふくさうひん)

弥生時代(やよい) (紀元前300年～紀元後300年)は、米作り(こめづくり)も広がり、少しずつ(しずく)貧富(ひんふ)の差(さ)もでき、次の古墳時代(こふん)には、地方(ちほう)に豪族(ごうぞく) (王様(おうさま)) ができます。伊万里(い万里)の古墳(こふん)からも人骨(ひとこね)やきれいな副葬品(ふくさうひん)が出ていますね。

この他にも資料館(しりょうかん)には、いろんな展示品(しんじひん)があります。3月20日(3がつ20にち)まで開かれていますので、ふるさとの大昔(おほい昔)の姿(すがた)を自分の目(め)で確かめてみましょう。